

# 新倉 瞳

## チェロ・リサイタル

新倉 瞳  
(チェロ)

新たに躍動する瞬間。  
と き

佐藤 卓史  
(ピアノ)

# Hitomi Nikura Cello Recital

2015.12.11 (金) 19:00開演  
(18:30開場)



浜離宮朝日ホール

都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅 A2出口すぐ TEL.03-5541-8710

Friday, December 11th, 2015 at 7:00p.m Hamarikyū Asahi Hall

### PROGRAM

R.シューマン: アダージョとアレグロ 変イ長調 Op.70

Robert Schumann: Adagio and Allegro in A-Flat major, Op. 70

J.ブラームス: チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 Op.38

Johannes Brahms: Cello Sonata No. 1 in E minor, Op. 38

S.ラフマニノフ: チェロ・ソナタト短調 Op.19

Sergei Rachmaninov: Cello Sonata in G minor, Op. 19

全席指定 S席 ¥4,500 | A席 ¥3,500 |

[チケット取扱い]

アスペン 03-5467-0081

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>



[主催] 朝日新聞社 / アスペン

[協力] 株式会社 ソニー・ミュージックダイレクト / 株式会社 ミューズエンターテインメント / 森下仁丹株式会社

[お問合せ先] アスペン 03-5467-0081 <http://www.aspen.jp>

○チケット料金には消費税が含まれています。 ○やむを得ず、公演の内容が一部変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
○未就学児のご入場はお断りしております。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約) 0120-788-222

Aspen

と き  
瞬間のながれ

2006年、桐朋学園大学音楽学部在籍中、鮮烈なCDデビューを果たした新倉瞳。J-クラシックのブームもあり、瞬間に彼女の名前が音楽界に広まった。

「カメのようにのんびりとしている人間」。自身を表現する新倉の言葉。デビューの早さ、そして、その後の人気と演奏活動、それは彼女自身のペースとはかけ離れ、想像もしていなかった時間だったのかもしれない…。そんな彼女の支えになっていたものは何なのか。

今年、活動の拠点をスイスに移してから5年目を迎える。デビューを通して出会えることができた聴衆の皆様、そして彼女を世に出して下さったスタッフの方々、コンサートを支えてくださる方々への感謝の気持ちは、一時も忘れることなく彼女の心に刻まれ、そしてチェロの音で表現されている。新倉が何よりも大事にしている「出逢い」が、たくさん詰まった演奏をここで聴きいただけることと思う。

P r o f i l e

新倉瞳 (チェロ)

Hitomi NIKURA, Cello

8歳よりチェロを始める。当時ドイツにて、ヤン・ヴィムスリック氏に師事。11歳で帰国後、毛利伯郎氏に師事。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業、卒業時には皇居桃華楽堂新人演奏会に出演。室内楽を徳永二男、原田幸一郎、毛利伯郎の各氏に、桐朋学園大学研究科において堤剛氏に師事。2003年、『いしかわミュージックアカデミー』IMA音楽賞を受賞し、アメリカ/アスペン音楽祭に奨学生として参加。桐朋学園大学在学中には、EMI Music Japanより「鳥の歌」をリリースし、紀尾井ホールにてデビュー。以後数々のメディアに取り上げられTV、ラジオに多数出演、森下仁丹ビフィーナのCMイメージ・キャラクターにも抜擢された。これまでに2nd「トロイメライ」、3rd「Largo -愛の挨拶」などのCDがリリースされている。10年よりバーゼル音楽院にてトーマス・デメンガ氏に師事。最近では、飯森範親指揮/日本センチュリー交響楽団特別演奏会、山形交響楽団定期演奏会、現田茂夫指揮/札幌交響楽団と共演。15年よりカメラータ・チューリッヒのソロ首席チェリストに就任、スイスにて室内楽奏者としても活動。活動の拠点をスイスに移してから変化し続ける音色に、これからも目が離せない。名器特別貸与者として、日本ヴァイオリンよりC.F.Landolfiを貸与されている。

<http://www.hitominiikura.com>

佐藤卓史 (ピアノ)

Takashi SATO, Piano

東京藝術大学を首席で卒業し、ハノーファー音楽演劇メディア大学およびウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。2004年日本シヨパン協会賞受賞(史上最年少)。07年シュベルト国際コンクール、11年カントウ国際コンクールで第1位。12年の第8回浜松国際ピアノコンクールでは第3位ならびに室内楽賞を受賞した。これまでに都響、東京フィル、東響、ミュンヘン室内管、シドニー響、ベルギー国立管等の公演に出演。室内楽奏者としても活躍しており、篠崎史紀、堀米ゆづ子、山崎伸子、藤森亮一、澤和樹、佐藤俊介、カール・ライスター、山本貴志、米元響子などと共演している。最近では、ジョナサン・ノット指揮/東京交響楽団音楽監督就任披露演奏会、ユベール・スターン指揮/広島交響楽団定期演奏会、現田茂夫指揮/NHK交響楽団地方公演に出演。録音においては、「ラ・カンパネラ〜珠玉のピアノ小品集」「シヨパン:ピアノ・ソナタ全3曲」(ナミレコード)など多くのCDをリリースし、いずれも高い評価を得ている。2014年よりシュベルトのピアノ曲全曲演奏プロジェクト「佐藤卓史シュベルトツィクルス」を開始。内外のアーティストから厚い信頼を寄せられ、今後の活躍が期待されるピアニストである。

<http://www.takashi-sato.jp>

満を持した初のコンチェルト・アルバム。5年の沈黙を経て、今、ここに問う!

ART INFINI

新倉瞳 / エルガー : チェロ協奏曲

収録曲

エルガー: チェロ協奏曲ホ短調作品85  
ブルッフ: コル・ニドライ作品47  
鳥の歌 (カタロニア民謡 / パブロ・カザルス編)

演奏

新倉瞳 (チェロ)  
飯森範親指揮、山形交響楽団

2015年秋  
リリース予定

MECO-1032  
定価 ¥3,000+税

SACDハイブリッド盤 (DSDレコーディング)

カーボンオフセットCD CDの売上金額の一部がグリーンスタイル基金に寄付され、環境改善のために有効活用されます。



企画・制作: (株)ソニー・ミュージックダイレクト 発売・販売: (株)ミュージックエンターテイメント